



あいの実 小平通信

～あんず・りんご・かりん～



南から梅雨明けの便りも届き、本格的な夏はもうすぐそこまできています。

6月は来年度からの各事業所利用に向けて少しずつ動き始める時期です。生活介護かりんでは高校3年生の実習が始まりました。あいの樹の放課後等デイサービスを長く利用している利用者さんたちもその日は大人の仲間入り。緊張しながらがんばっている姿はとても頼もしく映ります。児童発達支援あんずや放課後等デイサービスりんごにも問い合わせの電話や施設見学の申し込みがありました。また、事業所内では社内研修で呼吸器の勉強会や夏の感染症の研修などを行いました。

7月下旬から学校の夏休みも始まり、あいの実小平のフロアは朝から一段と賑やかになります。夏休み期間中は、恒例の夏祭りや音楽コンサートに加え、地域のボランティアさんによる「お楽しみ」を企画中です。

また、今年は法人として初めて、白梅学園大学の介護実習生2名を8月17日から30日までの10日間受け入れる予定です。

ふだんあいの実で行っている生活介助技術を見ていただき、「介護の仕事って楽しそう！」と興味をもっといただけることを願っています。ご利用のみなさん、保護者のみなさんとも接していただく機会もあると思います。どうぞご理解のほどよろしくお願い致します。

職員
コラム

おはなしの実

あいの実小平の南側に保育園があります。今月はかわいい保育園のお子さんとのエピソードを紹介します。

高校生の利用者さんとお散歩で保育園のお庭の横を通りかかると、年中さんくらいのおさんがこちらに気づきフェンスに近寄ってきました。「こんにちは」とあいさつすると「こんにちはー！」と元気なお返事。続いて利用者さんを指さし「このひと、おなまえなんていうの？」

「お名前教えてもいい？」ときくと利用者さんもお子さんに視線を送り嬉しそうです。下の名前を教えてあげました。名前がわかればもうお友だち！周りのお友だちも寄ってきてあっという間にフェンスは大騒ぎ。見守りの先生も何事かとおどろいたようです。「またね、さよならー！」と失礼しました。背中に「ばいばーい！またきてねー！」と大歓声を受けながら・・・利用者さんも恥ずかしがりながらもまんざらでもない、よい笑顔でした。

また、ある朝のこと。スタッフが出勤するとあいの実の駐車場に保育園へ登園中のおさんが立っていて車を指さしながら大きな声で何か叫んでいます。「えっ!?何かトラブル？」と近づくとすぐ側にいたお母さんが「あっ、すみません」と恐縮しています。「うちの子は車が大好きで、いつも登園するときこの車両を見るのが大好きなのです」とのこと。確かに・・・車をじーっと見つめて大喜びです。お母さんが安全に見守っていただけるならいつでも大歓迎です。福祉車両、こんなことにも活躍しているんですね。

地域とのつながりは、その土地で事業所を運営していく上でも、ご利用のみなさんの日中の生活の場という意味でもとても大切です。学校や他の関連施設とのつながりのみでなく、いちばん身近なご近所のかたに[あいの実小平の仲間]を知って頂けるよう、「まずは笑顔であいさつ」を心掛けています。